	チェック項目	理由
スケジュ	医師が勤務先を退職する時期	・保健所にクリニックの開設届を提出する時点で病院を退職していなければならないため
		・防火管理責任者研修や最終的な追加工事の打合わせなど早急に対処すべきことが多くなるため
	開業予定日	・保険診療を行うためには建築工事が完了した後に開設届や保健医療機関指定申請書を管轄 所へ提出するため
		・承認が下りるまで 1 ヵ月程度の期間を要するため段取りを組む必要があるため
I	開業前の研修予定	・研修の邪魔にならないよう騒音が出る工事は終えておく必要があるため
ル	線量測定が必要な医療機器の搬 入予定時期	・X線装置は漏洩放射線量を放射線測定器で測定する必要があり、工事の日程に影響するため
	診察室の数	・増患した場合に1人の医師が2つの診療室を併用して診察時間の短縮を図ることがあるため
	診察室と受付の位置関係	・電子カルテを用いる場合は従業員の移動が少なく、診療室と受付が離れていてもよい場合が増 えてきているため
間取り	スタッフルームの部屋数と面積	・スタッフの人数とロッカーの数はピーク時を予想して設ける必要があるため
		・後々の変更が多い要素なので注意する必要があるため
	ピーク時の想定患者数	・ピーク時の待合室にいる患者数を想定しないと座って待てない患者が出るため
		・中待合室や補助椅子の設置を検討する必要があるため
	トイレの数	・大腸の内視鏡検査など多数のトイレが必要な診療科目があるため
	化粧エリアの広さ	・高齢者対策として車いすが入れるスペースが必要となるため
		・折り畳みが可能なおむつ交換代台が必要な場合もあるため
	院内薬局の有無	・薬剤室を設ける場合は、薬局スペースと専用の出入口が必要になるため
		・水剤を処方する場合は給排水の設備も必要となるため
	購入予定の医療機器	・X線撮影装置やMRI装置など、消費電力が大きな特殊な機器があるため
	床上げの必要があるか	・ビル診の場合は、シンクや洗浄機を設置するために床を上げて給排水管を回す必要もあるため
	天井高が確保されているか	・体内を透視撮影するX線TV装置や整形外科のスリングセラピーなど、2,400mm以上の天井 高を必要とする機器があるため
設	床の耐荷重	・X線CT装置やMRI装置なそ、重量のある機器を設置する場合に床を補強して許容荷重を上げる必要があるため
備	MRI装置の電波・磁場の侵入・漏 洩と周囲環境	・MRI装置は外部からの電波の侵入で操作に不具合が生じる。線路や送電線が付近にある場合 は注意する
		・MRI装置は外部への電波や磁場の漏洩もあり、ほかの医療機器の周波数を乱す恐れがあるため
	既存設備(空調やトイレなど)の 使用	・事務所仕様の機種は医療機関では不十分であることが多いため、新品に見えても安易に使用を 決めないほうがよい
	施工業者の指定の有無	・内装施工業者が指定されたテナント物件では工事単価チェックや建材選びのチェックがしづらく、 余計な工事代金を払う場合もあるため
	エレベータの使用状況	・2階以上のテナントフロアの内装工事をする際は、建材や大型医療機器の搬入にエレベータを使 えない場合があるため
工事		・開業時期が重なるクリニックが同じビルにある場合は、駐車場の確保にも注意する
,	工事不可の時間帯	・住宅街や同じビル内に塾がある場合は、早朝や夜間の工事ができないことがあるため
		・新築ビルでは美観を考慮して独自の看板を認めない場合があるため
	看板などサイン設置工事の可否	・窓ガラスにカッティングシートでクリニック名のサインを貼っても良いか、電飾看板用の電源が取れる かなども確認する